

鶴田郷土資料室 戦争関連資料 展示概略

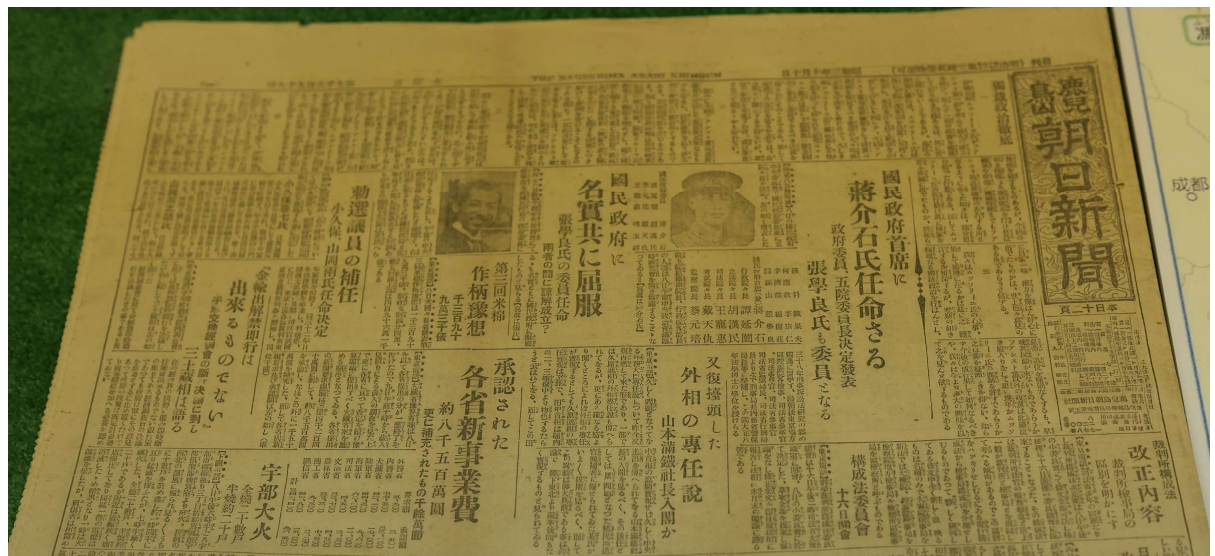
大正末期から終戦に至る激動の歩みを、パネルや当時の新聞、戦争を経験された方の遺品などの資料を通して、当時の国際情勢や社会背景を紐解き、平和の尊さを次世代へ伝える展示内容となっています。

1 大正から昭和へ～昭和 20 年太平洋戦争まで①



・当時の新聞

中華民国で、蒋介石率いる国民革命軍が軍閥政府を一掃した軍事行動(北伐)により、中国統一。記事には「国民政府首席に蒋介石氏任命さる」とある。(昭和3年10月)。



・軍服など



左：陸軍大佐 右：海軍少将



水筒



軍靴

2 大正から昭和へ ～ 昭和 20 年太平洋戦争まで②



・日の丸旗に書かれた寄せ書き

親族や関係者等から出征兵士に送られたもの



・大日本婦人會宮之城支部の旗



・柱時計

戦時中、種子島から柏原地区に疎開した児童達が、戦後、保護者等と共に柏原小学校を訪れ、その時に寄贈されたもの。「熊毛郡岩岡校区 疎開父兄一同」と記されている。



3 戦争中の兵士の所持品など

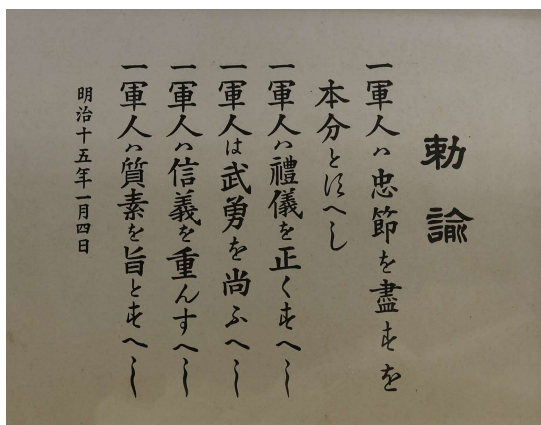


・千人針

兵士の無事を祈願して、多くの女性の手で、白い布に赤い糸で縫われたもの。戦地では弾除けのお守りとして、帽子に縫い付けたり腹巻にして身に着けられたりした。



・軍人勅諭



・軍隊手帳



4 第二次世界大戦の開始から終結まで

- ・大東亜戦勝利之記録

当時の新聞の復刻版。イギリスとアメリカに宣戦布告など。



- ・米軍配布のビラ ポツダム宣言

